

21) 京都市・府における神経芽細胞腫のマススクリーニング結果

沢田 淳, 杉本 徹, 田中輝房, 殿山京子

(京都府立医大小児科)

① 60年1月から12月末までの京都市・府におけるVMAスポットテストによるマススクリーニングの結果を表1に示した。

表1 神経芽細胞腫のマススクリーニング結果

	検査数	再検査数	神経芽細胞腫	検査数	再検査数	神経芽細胞腫
京都市	166514	5396 (3.2%)	10	13559	812 (5.9%)	2
京都府	22079	1237 (5.6%)	0	7609	229 (3.0%)	0
計	188593	6633 (3.5%)	10	21168	1041 (4.9%)	2

(~1985.12)

(1985.1~12)

昭和60年に発見された2例の概略は以下に示した。

No. 37 S. T. (F) 59. 6. 2生

spot test (+) -60. 1. 14

60. 1. 25

60. 2. 8

VMA 73.9 μ g/mg Cr

HVA 41.7 μ g/mg Cr

無症状

腫瘍触知なし (55g)

stage I L-OsC1N0 3a

60. 3. 6 手術

60. 3. 8 化学療法 (VCR, CPM, ADR)

60. 7. 25 化学療法終了

観察中

No. 54 K. M. (M) 60. 5. 18生

spot test (+)

市衛生局

HPLCにて高値

VMA 271 μ g/mg Cr

HVA 153 μ g/mg Cr

無症状

腫瘍触知 (222g)

stage III L-ORC3N2 3b

60. 12. 17 手術

水痘罹患

60. 12. 28 化学療法中(VCR, CPM)

② 48年より従来、京都ではVMAスポットテストによるマススクリーニングを実施してきたが、60年当初より高速液体クロマトグラフィーによるVMA・HVAの定量によるマススクリーニングを試み10月1日より京都市において実施しはじめた。システムは従来通り保健所を経由し、尿を採取し、そのまま市衛生研究所へ郵送することとした。12月末までに1102名に実施

した。再検率は0.9%と少なく、1例の患児（No. 54 K.M）を発見した。この間、同時に同一尿を使ってVMAスポットテストを施行しているが、VMAスポットテスト陽性であった。

これまでに発見された神経芽細胞腫（以下NB）の数も多くなり、しかもその治療成績が驚く程良好であることから、現在、実施されているNBマススクリーニングが有用であることは異存ないと思われるが、経済的効果の重要性は当然のこととして、より精度を挙げたスクリーニングとして、京都市でHPLCによるスクリーニングを開始した。スポットテストと比較して両方法の経済性を加味した有用性について今後検討する。

【文 献】

沢田 淳：小児内科. 14:1177, 1982.

佐藤泰昌他：日児誌. 89:2665, 1985.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



これまでに発見された神経芽細胞腫(以下 NB)の数も多くなり,しかもその治療成績が驚く程良好であることから,現在,実施されている NB マススクリーニングが有用であることは異存ないと思われるが,経済的効果の重要性は当然のこととして,より精度を挙げたスクリーニングとして,京都市で HPLC によるスクリーニングを開始した。スポットテストと比較して両方法の経済性を加味した有用性について今後検討する。